ちょっとお調べください。

故障かな？……とお思いのときは、アフターサービスをご依頼になる前に、次の点をお調べください。

症状	原因	処置
電源が入らない	電源コードが抜けている	プラグをコンセントにしっかり差し込んで下さい
電源が入らない	投入口の取付けが悪い	説明書にそって取付けてください
うまくおろせない	オロシ盤が減っている	オロシ盤を交換してください
運転中ストップ	モーターのヒューズ切れ	販売店に相談ください（モーター交換必要）

修理サービスおよび保証（保証書）について

修理サービスについて

●ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、差し込みプラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店または下記に、ご相談ください。なお、ご相談されるときは、HAPPYトロロ・オロシーRHG-12型およびお買い上げの時期をお忘れなくお知らせください。

●保証期間経過後の修理については販売店にご相談ください。修理によって性能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。

●このHAPPYトロロ・オロシーRHG-12型に使用している部品は、性能向上などのために一部予告なしに変更することがあります。

■保証期間内でも次の場合には有料になります。

（イ）ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。

（ロ）お買い上げ後の落下などによる故障および損傷。

（ハ）火災・地震・風水害・落雷その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷。

保証書について

このHAPPYトロロ・オロシーRHG-12型には「保証書」がついています。

●保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますから、記載内容をご確認のうえたいせつに保管してください。

●保証書にお買い上げ日、販売店名など所定事項の記入がないと有効とはなりません。もし記入がないときはすぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。

●万一故障した場合には、保証書記載内容により、保証期間内はお買い上げの販売店が無料修理いたします。

●このHAPPYトロロ・オロシーRHG-12型の保証期間はお買い上げいただいた日から1年です。

お問い合わせは

ハッピー工業株式会社

食品機器サービス課

TEL.023-686-2241

山形市立谷川3-3515

保　証　書

型名	HAPPYトロロ・オロシーRHG-12型		
保証期間	1　年　間	お買い上げ日	年　　月　　日
ご愛用者	ご住所 ご芳名	〒	TEL（　　）
販売店	住所 店名	〒	TEL（　　）

HAPPYトロロ・オロシー RHG-12型 取扱説明書

安全上のご注意 ご使用の前によくお読みのうえ、正しくお使いください。

この注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 警告 誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの

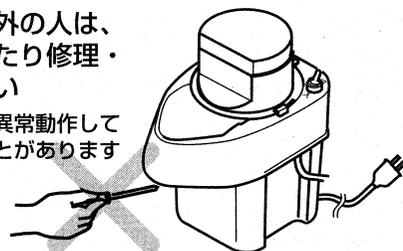
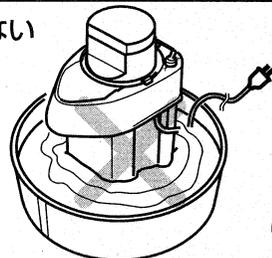
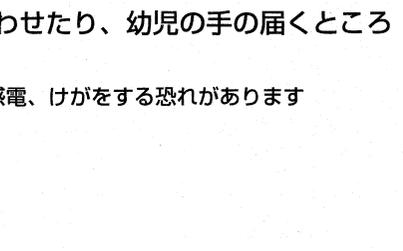
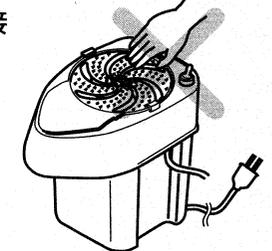
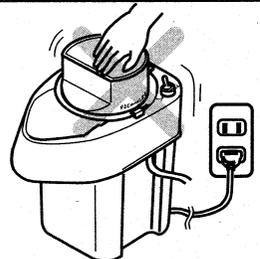
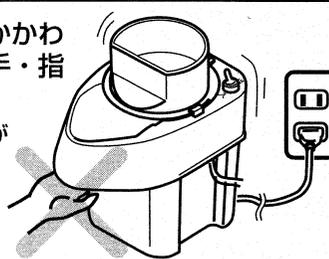
  注意 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり物的損害の可能性があるもの

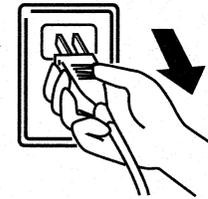
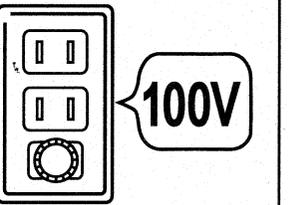
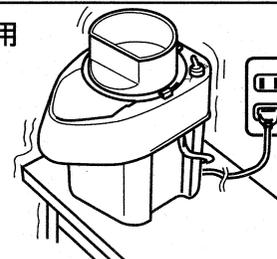
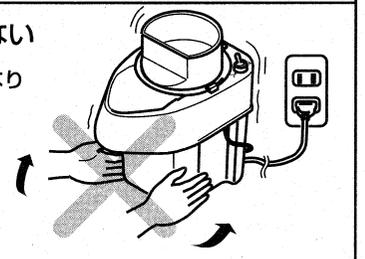
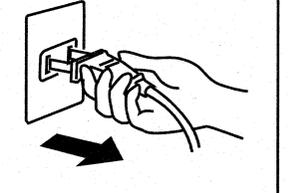
絵表示例と絵表示の意味

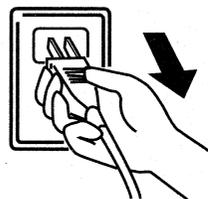
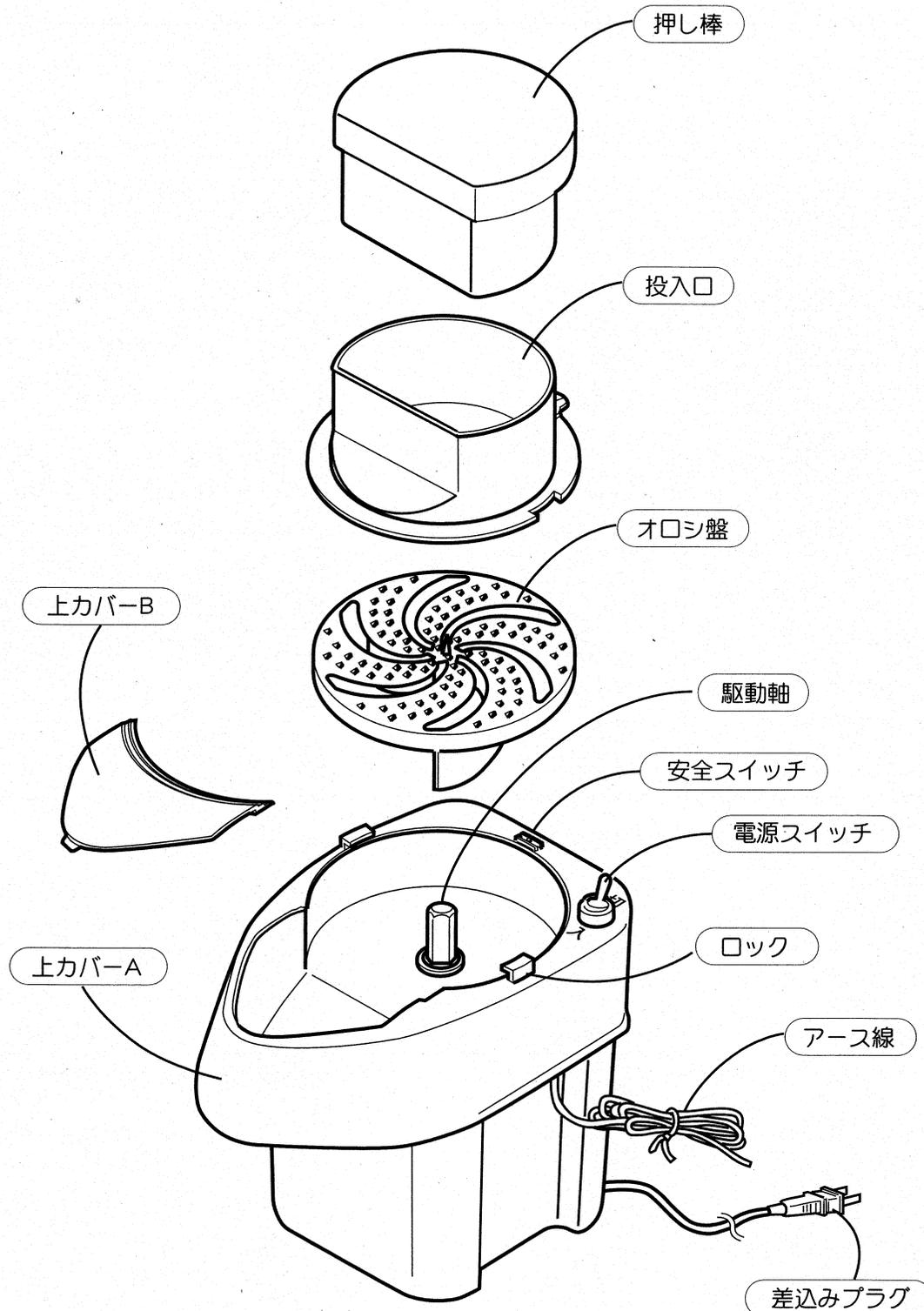
	分解禁止	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	コンセントを抜く	●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠ 警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わない
発火したり、異常動作してけがをすることがあります
本体を水につけたりしない
ショート・感電の恐れがあります
子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない
火傷、感電、けがをする恐れがあります
刃物は鋭利なので、直接手を触れない
けがをする恐れがあります
運転中、投入口を外したり、投入口の中に手・指などを入れない
けがをする恐れがあります
運転中、停止中にかかわらず、食品出口に手・指などを入れない
けがをする恐れがあります
安全上のご注意 ご使用の前によくお読みのうえ、正しくお使いください。

⚠ 注意

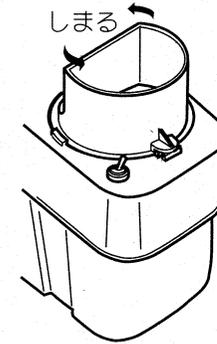
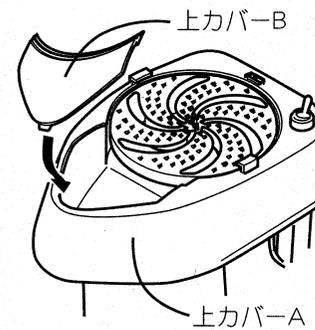
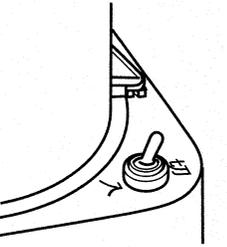
電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く
感電やショートして発火する事があります
スイッチ「切」を確かめてから、電源プラグを抜き差しする
けがの原因となります
掃除するときは、刃物を取り外してからにする
けがをする恐れがあります

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しない
感電・ショート・発火の原因になります
電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたりしない。また、重い物を載せたり、挟みこんだりしない
電源コードが破損し、火災・感電の原因となります
交流100Vを使用し、必ずアースを取ること
火災・感電の原因となります。
不安定なところでは使用しない
けがの原因となります
運転中に移動させない
けがの原因となります
刃物カバーを閉めているとき以外はスイッチを入れない
けがをする恐れがあります

部品の取付け、取外し及びお手入れをするときは、スイッチを切り、プラグを抜く
けがをする恐れがあります
使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く
けが、やけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります

各部の名前

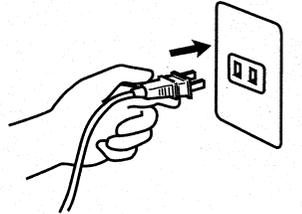
押し棒
投入口
オロシ盤
上カバーB
駆動軸
安全スイッチ
電源スイッチ
ロック
上カバーA
アース線
差込みプラグ

お使いいただく前の準備

①機械は平らで安定した所に置いてください。

②電源スイッチは「切」の状態になっているか確認してください。

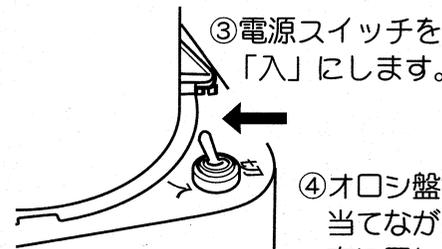
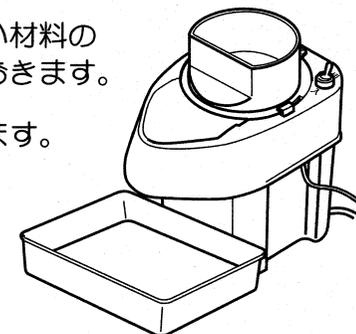
③オロシ盤が駆動軸に確実に入っているか確認してください。
（確実に入っていないと故障の原因になります）

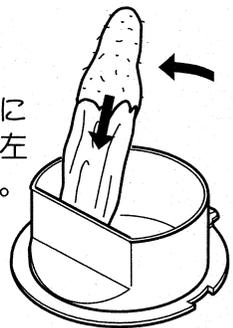
④上カバーBが上カバーAに確実に入っているか確認してください。

⑤投入口が上カバーの溝に入り、確実にロックされているか確認してください。

⑥差込みプラグはコンセントに確実に挿入されているか確認してください。

※アースは必ず取ってください！

正しい使いかた

①とろろ芋・大根等、おろしたい材料の汚れを取り除き、皮を剥いておきます。

②機械の食品出口に容器を置きます。

③電源スイッチを「入」にします。

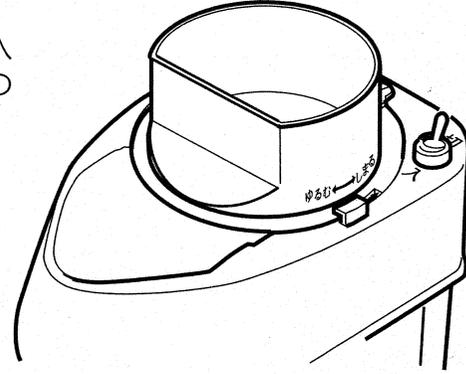
④オロシ盤が回転したら、図のように投入口の端に当てながら食材を押し込んでください。材料を左右に回しながら押し込むときれいにおろせます。

●粗さは押し加減によって変わります。
●粘度の強い山芋をおろす場合は、先にオロシ盤や投入口を水で濡らしてからおろすと、べたつくことなくスムースに落ちてきます。
●あまり強く押しすぎますと、機械が停止し、故障の原因となりますので、停止しないように注意願います。
●食材が小さくなりましたら、危険ですので必ず付属の押し棒を使用してください。
●作業が終ったら、スイッチを「切」にし、必ずコンセントから差込みプラグを抜いてください。

ご使用上の注意点

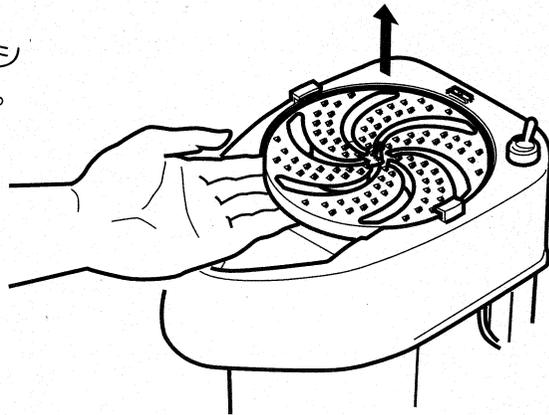
1. この機械の使用時間は連続で５分間です‼
５分を目安に使用を停止してください。５分以上使用するとモーターの温度が上がり、場合によってはヒューズが切れて使用できなくなることがあります。(ヒューズ交換はできません。モーター交換になります。)
※継続して使用したい場合は、５分間使用後、スイッチを切り、差込みプラグをコンセントから抜いて、30分程度機械を休ませ、温度が下がったことを確認してから、再度使用してください。
2. 食材をオロシ金に強く押し過ぎると、機械が停止し、機械故障の原因となります。押し加減を調節し、機械が停止しないようご使用ください。
3. 万一食材が詰まって刃物が止まった場合、スイッチを「切」にし、コンセントから差込みプラグを抜いた後、食材を取り除いてください。

投入口の着脱のしかた

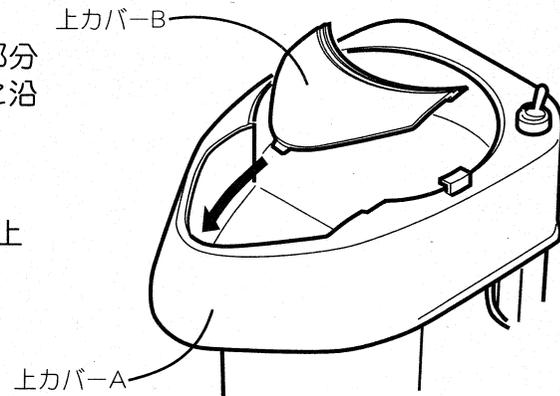
①取付ける場合、上カバーのロック部に投入口の切欠け部品を合せて入れ、「しまる」の方向に投入口をまわしてロックします。

②取外す場合は、「ゆるむ」の方向に投入口をまわしてロックを解除し取外します。

オロシ盤の着脱のしかた

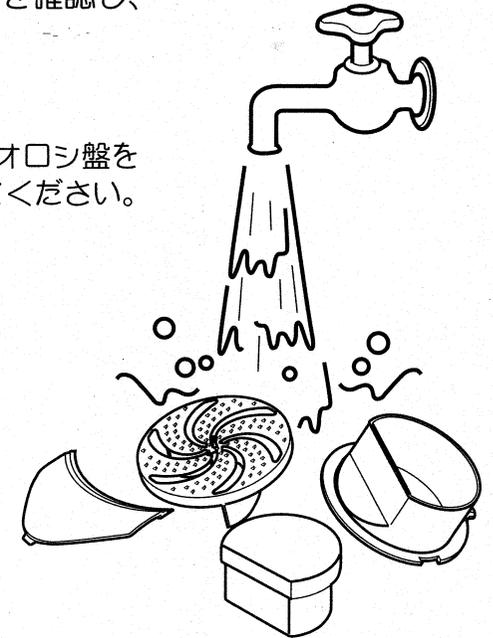
①取付ける場合、駆動軸の六角棒にオロシ盤の六角穴を合せて、奥まで差込みます。

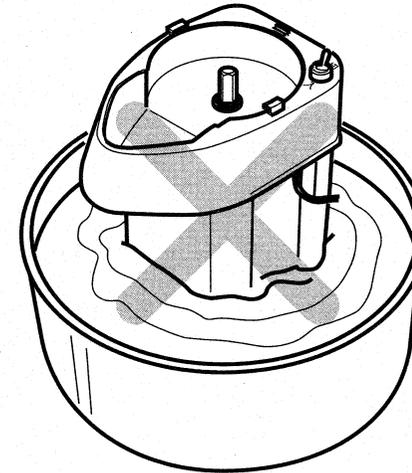
②取外す場合は、上カバーBを取外し、オロシ盤の下に手を入れ、持ち上げるようにして取外します。

上カバーBの着脱のしかた

①取付ける場合、上カバーBの出張り部分を上カバーAの溝に入れ、周りの溝に沿って取付けます。

②取外す場合は、上カバーBを上に持ち上げれば簡単に取外せます。

手入れのしかた

●スイッチが「切」になっていることを確認し、差込みプラグを抜いてください。

①押し棒・投入口・上カバーB・オロシ盤を本体より取外し、水洗いをしてください。

②本体は、スイッチに水がかからないようにカスを流す程度に静かに上から少量の水をかけ、その後にかたく絞ったタオル等で汚れ・水滴を拭き取ってください。

※危険ですので、本体を絶対に水につけないでください。

※防水加工は行っていますが、危険ですのでスイッチには水がかからないようにしてください。
※刃物は鋭利ですので、取扱いには充分注意してください。
※洗剤を使用する場合は、必ず中性洗剤をご使用ください。
※洗浄及び乾燥機・熱湯は使用しないでください。

●本体内部に水が入らないようくれぐれもご注意ください。